

宇宙電波懇談会事務局（名大理）発行

宇電懇シンポジウム『大型宇宙電波望遠鏡による観測』のお知らせ（第2回目）

- 日 時 12月17日14時30分～12月19日12時
- 会 場 野辺山宇宙電波観測所／本館
- 宿 泊 愛 岳 寮

プ ロ グ ラ ム （ 予 定 ）

12月17日

14時30分～18時30分

URSI-J分科会（各施設の報告）

1. 野辺山宇宙電波観測所の現況（～2時間）
2. 国内各施設の現況報告（～2時間）

20時00分～21時30分（会場愛岳寮）

1. URSI総会報告……田中
2. IAUシンポジウム報告……井上
3. IRAM報告……海部
4. VLA報告……祖父江
5. Kitt Peak 11m 報告……福井

12月18日

9:00～ 9:20 仮プロポーザル応募状況……渡辺

- 9:20～10:20 野辺山宇宙電波観測所の観測計画……海部
- 10:20～10:40 休 憩
- 10:40～11:10 45 m望遠鏡によるライン観測プロポーザルのレビュー……福井
- 11:10～11:40 観測装置の側から見たライン観測プロポーザルの検討……稲谷
- 11:40～12:10 ディスカッション
- 12:10～12:40 昼 食
- 12:40～15:00 見 学
- 15:00～18:00 共同利用体制の議論
1. 連絡協議会報告……田中(15分)
 2. プログラム委員会の体制検討の報告……藤本(15分)
 3. 共同利用立上げの展望……森本(20分)
 4. 共同利用委員選挙と宇電懇との関係……祖父江(20分)
 5. 共同利用体制の議論
- 18:30～ 懇 親 会(愛岳寮)

12月19日

- 9:00～ 9:30 45 m望遠鏡によるコンティニューム観測プロポーザルのレビュー……田原
- 9:30～10:00 観測装置の側から見たコンティニューム観測プロポーザルの検討……森本
- 10:00～10:30 ディスカッション
- 10:30～10:40 休 憩
- 10:40～11:20 干渉計による観測……長谷川、石黒
- 11:20～11:50 VLBI 観測……平林

11:50～12:20 機器開発その他のプロポーザル……小川

12:20～12:40 まとめのディスカッション、感想

12:40～ 昼食後解散

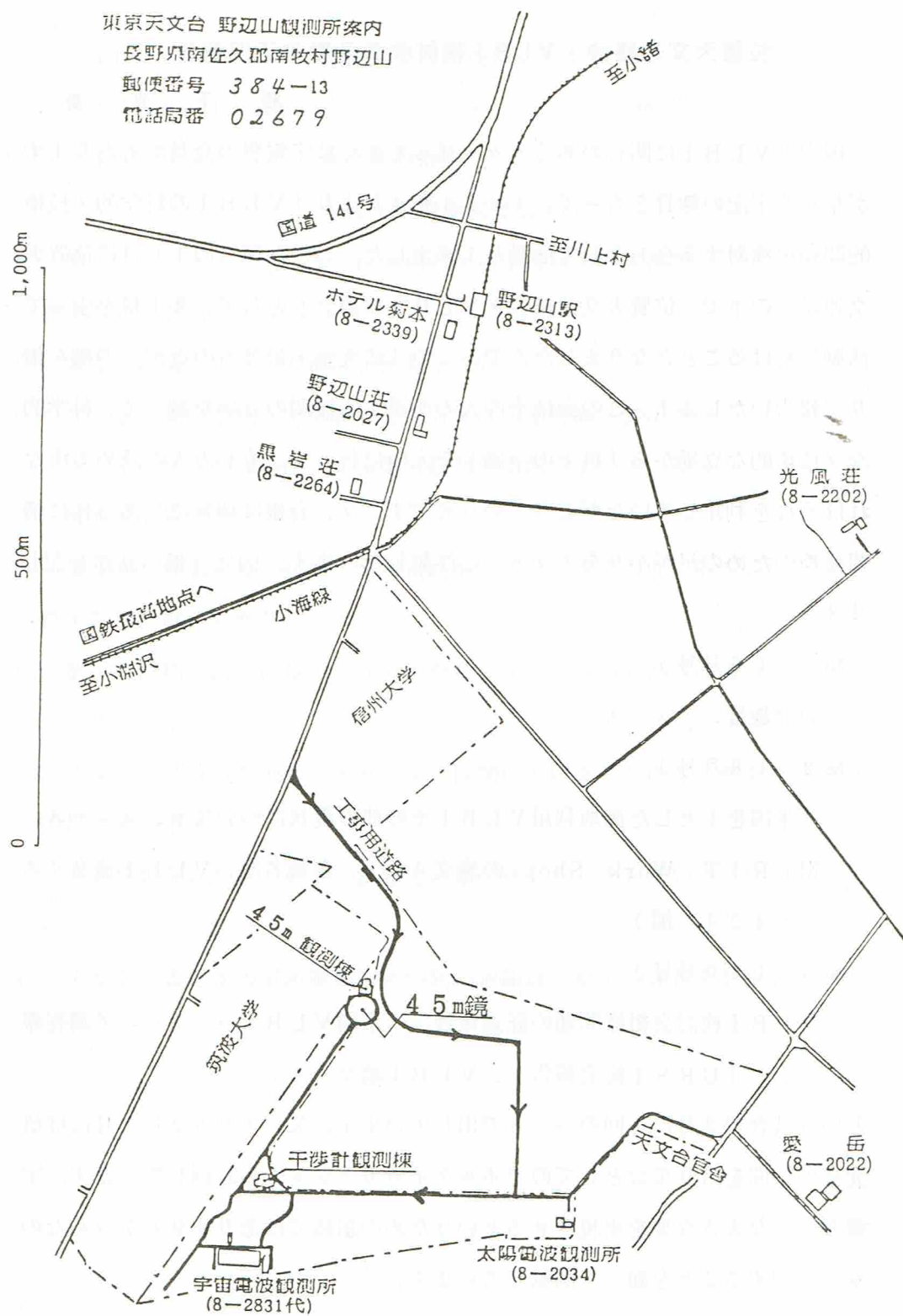
午後宇電懇運営委員会

- 当日のレジストレーションは会場の宇宙電波観測所本館で行いますので直接そちらにおいで下さい。
- 本館への道筋は下記の地図を御覧下さい。
- 先日出張発令手続きを御願いした方々は印鑑を御持参下さい。
- シンポジウムの会場は、宇宙電波観測所本館ですので、初日（12月17日）には直接会場に行ってください。
- 車で来られる方は、必ず工事用道路から入り、本館の北に駐車して下さい。路上駐車は堅くお断りします。
- 駅からは約2 km、徒歩で25分かかります。45 mのところでさくをくぐって入ってください。
- 14時17分着の列車ですと徒歩では間に合いませんので、車をお持ちの方はご協力下さい。
- 写真撮影等のため、信大、筑波大の畑や林に立ち入らないようにして下さい。
- 天文台官舎と太陽電波観測所との間の道路は、車での通行を禁止しています。

国鉄時刻表（冬期一般）

新 宿 八王子 小 着 淵 沢 発 野辺山						名古屋 塩 尻 発 小 着 淵 沢 発 野辺山					
急	0645	0722	0915	0934	1017	0700	0909	0918	1055	1132	1217
急	1030	1109	1303	1328	1417	0820	1118	茅野ノリカエ 1151	1300	1328	1417
急	1316	1403	1558	1630	1718	1000	1213	1236	1409	1434	1517
普	1335	1415	1700	1704	1754	1100	1310	1430	1538	1630	1718
特	1400	1438	甲府ノリカエ			1400	1613	1648	1846	1852	1935
急	1600	1639	1835	1852	1935	→ 0455 0542 0723 0727 0812 大 阪 京 都 — 2220 2301					
普	1710	1758	2055	2100	2143						
特	1800	1841	甲府ノリカエ								
野辺山 小 着 淵 沢 発 八王子 新 宿						野辺山 小 着 淵 沢 発 塩 尻 発 名古屋					
	0607	0645	0714	0916	0954急	0607	0645	0723	0856	0903	1115
	0742	0828	0850	1106	1143急	0742	0828	0833	1003	1004	1218
	0844	0923	0942	1245	1324急	0844	0923	1044	1251	1257	1547
	1154	1243	1300	1458	1536急	1154	1243	1303	1419	1444	1751
	1354	1433	1508	1729	1811急	1354	1433	1559	1715	1728	1945
	1653	1732	1743	1936	2017急	1947 2024 2057 2230 2256 — → 京 都 大 阪 0506 0549					
	1756	1833	1847	2132(高尾)	普						

東京天文台 野辺山観測所案内
長野県南佐久郡南牧村野辺山
郵便番号 384-13
電話局番 02679



位置天文連絡会・VLBI検討会の活動の近況報告

藤 下 光 身

国内のVLBIに関心のある人々（従って多くは宇電懇の会員でもあります）が集まり下記の趣旨をもって、1981年4月より「VLBIの科学的・技術的問題を検討する会」として活動して来ました。このたびこの10月に位置天文連絡会の下で「位置天文連絡会・VLBI検討会」として、多少根を張って活動を続けることとなりましたので、この「研究室・研究所の近況」の欄を借りて報告いたします。この会はその人の所属する機関の立場を越えて、科学的な又技術的な立場から「机上の空論」を大に行って、もし万人の認める所なればそれを利用していただくという会です。又、会報は趣旨にもある様に情報交換のための足がかりをモットーに作製しています。因に会報の話題を記しますと

No. 1 （6月号）

設立趣旨、ニュース

No. 2 （8月号）

「米国を主とした測地利用VLBIその他の現状について」、ニュース、MERIT Work Shop の論文リスト、会員名簿、VLBI論文リスト（424 編）

No. 3 （10月号）

VLBI検討会組織問題の経過報告、「米国VLBIハードウェア調査報告」、「URSI総会報告」、VLBI論文リスト

という具合で2月に1回のペースで出しています。又、1982年2月には研究会の時間を借りて会としてのパネルディスカッションも計画しています。宇電懇の様な大きな夢を実現させるというための組織ではありませんがみんなの夢が調和することを願って活動しています。

設 立 趣 旨

V L B Iはそのすばらしい精度によって天体物理学の分野は言うまでもなく、地球物理・海洋物理・測地学などの分野の多くの研究者を魅了し続けて来た。その精度は漸く cm のオーダーに届き、テスト段階から実用段階になったと言えよう。特にアメリカにおいては D S N、P O L A R I S などのネットワークが他の国の局も含んで動いている。移動局では M I T E S、S E R I E S などの G P S 利用の技術がテストされており、A R I E S の改良も進んでいる。しかしながらこうした情報は我国の各機関へは断片的にしか伝わっておらず、国内研究者間での早くしかも頻度の高い情報の交換が必要である。一方ここ数年、日本においても V L B I の計画が各機関で出そろいそのうちの一部は実現し、あるいは実現しつつある。このため広い学問分野から科学的・技術的に日本全体としての V L B I 計画を考える必要があるし、又その気運も盛り上がって来ている。これらの理由により V L B I に関心を持つ国内の研究者がだれでも参加でき、議論し、情報を交換できる組織として「位置天文連絡会・V L B I 検討会」を設立する。

代表者 河 野 宣 之

世話人 河 野 宣 之・藤 下 光 身・中 嶋 浩 一

井 上 允・小 牧 和 雄

事務局 1 9 8 2 年 1 月 末 まで 緯 度 観 測 所・藤 下 が 担 当